

# 経済統計 練習問題

## 第 27 回 景気指標 (3)

2019 年 1 月 16 日

問 1 下記は、経済用語についてまとめた表である。下表の経済用語に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。下の①～③のうちから一つ選びなさい。

経済用語	主な内容
(ア)	生産や雇用など、さまざまな経済活動での重要かつ景気に敏感な指標の動きを統合することによって、景気の現状把握および将来予測に資するために作成された統合的な景気指標であり、内閣府が公表している。
(イ)	総務省統計局が実施している統計調査であり、一般世帯の収入・支出と貯蓄・負債などを調査している。調査結果は家計収支編と貯蓄・負債編に分けて公表され、個人消費の動向を捉えることができる。
(ウ)	内閣府が 2000 年から実施している調査で、景気に敏感な職業の人たちに協力を依頼し、生活実感としての景況感を把握する。「街角景気」ともいわれている。

- ① 空欄 (ア) に入る用語は、「消費者物価指数」である。
- ② 空欄 (イ) に入る用語は、「家計調査」である。
- ③ 空欄 (ウ) に入る用語は、「全国企業短期経済観測調査」である。

問 2 次の (あ) ~ (き) の文章について、正しければ○ 間違っていれば× を解答欄に記入せよ。

- (あ) 景気の谷から山までを拡張期、山から谷までを後退期といい、この 2 つをあわせて 1 循環という。
- (い) 景気動向指数の CI は、景気の局面 (上昇・下降) の判断には有効であるが、景気変動の大きさや量感の判定には適さない。
- (う) 景気動向指数の先行系列に採用されるものは、景気の変化に先立って上昇・下降の変化をする。
- (え) 景気動向指数の DI が 0 のとき、景気の谷である。
- (お) 日銀短観の業況判断 DI は、景気の山の時に大きい値を、景気の谷の時に小さい値をそれぞれとる。
- (か) 景気ウォッチャー調査は、景気に関連深い経済活動項目の動向を観察できる立場にある人に、調査をおこなうものである。
- (き) 実質 GDP は、景気動向指数の一致系列に採用されている。

解答欄

(あ)	(い)	(う)	(え)	(お)	(か)	(き)